

2015/07/12の定期メンテナンスにおける kintone API更新の事前情報(2回目)

2015年7月12日の定期メンテナンスの、kintone API の更新に関する情報（2回目）をお知らせします。

1回目の事前情報は [こちら](#) になります。

kintone JavaScript API

機能が追加されるAPI

下記のイベントで、指定可能なフィールドにテーブルが追加されました。これにより、テーブルの行追加・削除ボタンクリック時のイベントを取得できるようになります。

- [レコード追加画面のフィールド値変更時イベント](#)
- [レコード編集画面のフィールド値変更時イベント](#)

不具合が改修されるAPI

下記の対象のAPIとイベントで、ドロップダウンフィールドの削除済みの選択肢をレコードに設定しようとするとうエラーが発生する。

改修後は以下のような挙動になります。

- 削除されていない選択肢は設定できる
- 削除された選択肢のうちレコードに保存済みの選択肢は設定できる
- 削除された選択肢のうちレコードに保存されていない選択肢は設定できない
- 存在しない選択肢は設定できない

対象のAPI

- [レコードに値をセットする](#)

対象のイベント

- [レコード一覧画面の「保存ボタン」クリック時イベント](#)
- [レコード一覧画面のフィールド値変更時イベント](#)
- [プロセス管理のアクションイベント](#)
- [レコード追加画面が表示された時のイベント](#)
- [レコード追加画面の保存実行前イベント](#)
- [レコード追加画面のフィールド値変更時イベント](#)
- [レコード編集画面が表示された時のイベント](#)

- [レコード編集画面の保存実行前イベント](#)
- [レコード編集画面のフィールド値変更時イベント](#)

kintone REST API

変更される仕様

- [日付のフォーマット](#) の仕様が変更されます。

変更前 フィールドタイプ フォーマット 説明

日付 YYYYY-MM-DD UTCに変換されません。

フィールドタイプ
フォーマット 説明

UTCに変換されません。

以下のような形式の入力を受け付けません。

* 2015

* 2015-07

* 2015-7

* 2015-7-5

変更後

日付

YYYY-MM-DD

月日を省略した場合は01で補完されません。

* 2015 -> 2015-01-01

* 2015-07 -> 2015-07-01

* 2015-7 -> 2015-07-01

* 2015-7-5 -> 2015-07-05

- [フィールドを削除する](#) APIで指定できるフィールド数の上限が100件に設定されました。
- [フィールドを削除する](#) APIでパラメータをクエリ文字列で送信できるようになりました。

改修される不具合

[API スキーマ情報の取得](#) で、以下のAPIのスキーマ情報に誤りがあったため改修されます。

- /k/v1/apis/record/put.json ([レコードの更新API](#))

```
改修前  "request": {
          "properties": {
            "required": [
              "id",
              "record",
              "app"
            ]
          }
        }
```

```
}
}
```

※"record"は必須パラメータではないため削除されます。

改修後

```
"request": {
  "properties": {
    "required": [
      "id",
      "app"
    ]
  }
}
```

- /k/v1/apis/records/put.json ([レコードの一括更新API](#))

改修前

```
schemas:{
  "RecordForm": {
    "required": [
      "id",
      "record"
    ]
  }
}
```

※"record"は必須パラメータではないため削除されます。

改修後

```
schemas:{
  "RecordForm": {
    "required": [
      "id"
    ]
  }
}
```

- /k/v1/apis/bulkRequest/post.json ([複数アプリへのレコード一括処理API](#))

改修前

```
schemas:{
  "RecordForm": {
    "required": [
      "id",
      "record"
    ]
  },
  "RecordPutForm": {
    "required": [
      "id",
      "record",
      "app"
    ]
  }
}
```

改修後

※"record"は必須パラメータではないため削除されます。

```
schemas:{
  "RecordForm": {
    "required": [
      "id"
    ]
  },
  "RecordPutForm": {
    "required": [
```

```
        "id",  
        "app"  
    ]  
}  
}
```

追加された制限事項

- [アプリの設定の運用環境への反映](#)に制限事項を追加しました。
 - アプリの設定の反映(キャンセル)中、アプリの設定を変更するAPIが実行されるとエラーが返されます。

変更されるエラーメッセージ

- APIトークンでルックアップフィールドの値を編集した際のエラー

改修前

```
{  
  "message": "フィールド「ルックアップ」の値「<指定した値>」  
が、ルックアップの参照先のフィールドに存在しません。",  
  "id": "1505999166-1260595130",  
  "code": "GAIA_LO03"  
}
```

改修後

```
{  
  "message": "APIトークンを使用する場合、ルックアップフィールド  
を編集できません。",  
  "id": "1505999166-679475063",  
  "code": "GAIA_AT01"  
}
```

- [フィールドのアクセス権の更新API](#)でテーブルを指定した際のエラー

改修前

```
{  
  "message": "指定されたフィールド (code: Table) が見つかりま  
せん。",  
  "id": "1505999166-1260595130",  
  "code": "GAIA_FC01"  
}
```

改修後

```
{  
  "message": "テーブル内のフィールド (code: Table) にはアクセス  
権を設定できません。",  
  "id": "1505999166-679475063",  
  "code": "GAIA_AD02"  
}
```

- [1回目の事前情報](#)に掲載された「変更されるエラーメッセージ」に一部誤りが存在したため、正しいエラーメッセージに修正しました。恐れ入りますが、今一度変更されるエラーメッセージのご確認をお願いいたします。